

生産と労働

1 単元のねらい

対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について考えることを通して，現代の生産などの仕組みや働き，勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の内容に気付き，市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする意欲と態度を養うことができる。

2 単元の評価規準

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---------|---------------------------------------|--|--|
| 単元の評価規準 | 勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の内容について理解している。 | 対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し，表現している。 | 市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 |

●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---------------|---|---|---|---|---|---|
| 知識・技能 | ● | | ● | ● | | |
| 思考・判断・表現 | | ● | | | | ○ |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | | | | ○ | ● |

3 単元構造図（全6時間） ☆獲得する認識

| | |
|--------------------------------|--|
| 単元名 生産と労働 | 単元学習前の生徒の認識 前単元では、私たちが消費している財やサービスは、消費者を守るための法律や契約という仕組みに基づいて生産されていることが分かった。商品の生産を行う企業は、どのような仕組みで運営されているのだろうか。また、私たちが将来働く際には、どのようなことを大切に働いていくとよいのだろうか。 |
|--------------------------------|--|

第1時 生産活動と企業 【●知識・技能】

私たちの生活に必要な物は、どのようにして生産されているのだろう。

☆分業 ☆交換 ☆企業 ☆利潤 ☆資本 ☆資本主義経済 ☆技術革新

多くの企業は、資本主義経済の中で利潤を追求しつつ、よりよい財やサービスを生産するための努力をしていることがわかった。効率的な生産方法を生み出すための研究は技術革新をもたらすこともある。働くようになったら、自分のアイデアを様々な人に積極的に伝えていきたい。

第2時 企業の種類 【●思考・判断・表現】

企業にはどんな種類があるのだろう。

☆私企業 ☆公企業 ☆大企業 ☆中小企業 ☆起業 ☆企業の社会的責任（CSR）

日本の企業は、ほとんどが中小企業だが、なかには世界に通用する技術をもつ企業もある。近年では、ベンチャー企業が増えている。また、利潤を求めだけでなく、社会に貢献したり、法令の遵守や消費者の安全、従業員の生活の安定などの役割と責任を果たしたりすることが企業には求められている。

第3時 株式会社の仕組み 【●知識・技能】

株式会社はどのような仕組みになっているのだろう。

☆株式会社 ☆株式 ☆株主 ☆株主総会 ☆配当 ☆証券取引所 ☆株価

株式会社は、株式を発行することで得た資金から運営される企業であること、そして、株主には様々な権利があることが分かった。また、株価は人々の期待値によって変動する。これから新聞やテレビの株式市場欄を見るようにしていきたい。

第4時 労働の意義と労働者の権利 【●知識・技能】

労働者の権利を守るために、どんな取り組みがされているのだろう。

☆労働組合 ☆労働基準法 ☆労働組合法 ☆労働関係調整法 ☆ワーク・ライフ・バランス

労働者を守るために、様々な法制度や権利がある。自分も将来働く際には、求人広告や雇用条件をよく確認し、少しでもよい環境で働くことができるようにしていきたい。

第5時 労働環境の変化と課題 【○主体的に学習に取り組む態度】

労働をめぐる環境には、どんな変化と課題が見られるのだろう。

☆非正規労働者 ☆外国人労働者

日本では、最近能力主義や成果主義が増え、働き方も多様化しつつある。しかし、日常生活の中でいろいろな話を聞いていると、人手不足の会社が多いように感じる。非正規労働者や外国人労働者、女性や高齢者、障がいのある人々などの助けも借りながら、すべての人がいきいきと働くことができる環境を創っていく必要があると感じた。

第6時 少子高齢化について 【○思考・判断・表現 ●主体的に学習に取り組む態度】

少子高齢化が進む日本で、外国人労働者（移民）をさらに受け入れるべきかどうか。

外国人労働者は積極的に受け入れていくべきだと思っていた。しかし、問題の根本は、少子高齢化である。そのためには、受け入れを止めていくことは解決のきっかけになると考えた。そのためには、少子高齢化の現状が解消されるように、今後10年以内に合計特殊出生率が1.8以上に増加したり、かつAIや高齢者の働き等で様々な形によって、当面の労働力が確保されたりする必要がある。そうでないのであれば、積極的に外国人労働者を受け入れ、よりグローバル化した日本を目指すべきであると考えた。

単元学習後の生徒の意識

企業はよりよい財やサービスを生み出すことで、利潤を生み出す努力をし、また社会的な責任を負っていることがわかった。労働者が企業の生産活動や社会を支えている。労働条件は以前に比べて改善されつつあるようだが、長時間労働や非正規労働者の増加など、さまざまな問題がある。誰もが安心して働くことができる社会を築いていかなければいけないと思う。

4 単元指導計画

| 時 | ねらい | 学習活動 | 評価規準 | 資料 指導・援助 |
|--------------|---|---|--|---|
| 1 生産活動と企業 | <p>分業と交換や資本主義経済の仕組みについて調べることを通して、私たちの生活に必要な財やサービスがどのように生産されているか理解することができる。</p> <p>☆分業 ☆交換 ☆企業 ☆利潤 ☆資本 ☆資本主義経済 ☆技術革新</p> | <p>1 さまざまな企業の財やサービスの写真を見て、その目的を考え、課題を設定する。</p> <p>私たちの生活に必要な物は、どのようにして生産されているか</p> <p>2 分業と交換の良さを効率の視点から考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 分業と交換によって、それぞれが得意な質の高い物を、少ない手間と短い時間で安心して専門的に生産でき、社会全体の効率が良くなる。 <p>3 資本主義経済と企業の仕組みを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業は資本を元手に、土地、設備、労働力という3つの生産要素、そして商品へと形を変えながら利潤を増やす努力をしている。 最近新しい商品を生み出す研究や、生産を効率的に行う方法の開発に力を入れている。 <p>4 最近の労働をめぐる問題から単元を貫く課題を設定する。</p> <p>生産活動では、なぜ労働者の権利を保障することが重要なのか</p> <p>5 本時のまとめをする。</p> <p>多くの企業は、資本主義経済の中で利潤を追求しつつ、よりよい財やサービスを生産するための努力をしていることがわかった。効率的な生産方法を生み出すための研究は技術革新をもたらすこともある。働くようになったら、自分のアイデアを様々な人に積極的に伝えていきたい。</p> | <p>私たちが日常生活の中で消費している財やサービスがどのように生産されているかについて調べ、まとめている。 (知・技)</p> | <p>◇さまざまな企業で生産される財やサービス ◇分業と交換 ◇企業の生産活動と、分業と交換</p> <p>・財やサービスの生産における分業と交換の良い点を確認する。</p> |
| 2 企業の種類 | <p>自分が起業するとしたら、どのような企業を創るか、企業の社会的責任に着目して、具体的な事例を基に考察し、表現することができる。</p> <p>☆私企業 ☆公企業 ☆大企業 ☆中小企業 ☆起業 ☆企業の社会的責任(CSR)</p> | <p>1 K社やP社の話題から課題を設定する。</p> <p>企業にはどのような種類があるのか</p> <p>2 私企業と公企業、大企業と中小企業の違いを押さえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 公企業は公共の目的のために活動する。 日本は99%以上が中小企業である。 海外で生産したり、商品を外国に輸出したりする中小企業が増えてきた。 <p>3 起業することや企業の社会的責任を果たすことの重要性について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 独自の先進技術を活用して急成長するベンチャー企業が増えている。 企業は利潤を求めただけでなく、社会に貢献したり、法令の遵守や消費者の安全、従業員の生活の安定などの役割と責任を担ったりすることが求められている。 <p>4 起業する場合どのような企業を創るのが良いか考える。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p> <p>日本の企業は、ほとんどが中小企業だが、海外に進出している企業もある。近年では、ベンチャー企業が増えている。また、利潤を求めただけでなく、社会に貢献したり、法令の遵守や消費者の安全、従業員の生活の安定などの役割と責任を果たしたりすることが企業には求められている。</p> | <p>起業する場合どのような企業を創るのが良いか、企業の社会的責任に着目して考察し、表現している。 (思・判・表)</p> | <p>◇小さな製作所から世界的な企業に成長したP社 ◇最初の製品と現在の製品 ◇海外で人気の日本の包丁と商談の風景 ◇主な企業の種類 ◇中小企業の日本経済に占める割合 ・起業することやベンチャー企業を営むことの重要性や難しさを考えさせる。</p> |

| | | | | |
|---------------------------|--|--|--|---|
| <p>3 株式会社の仕組み</p> | <p>株式に関する資料を調べることを通して、株式会社の仕組みと株主の権利や責任について理解することができる。</p> <p>☆株式会社 ☆株式 ☆株主 ☆株主総会 ☆配当 ☆証券取引所 ☆株価</p> | <p>1 新聞の株式市場欄から、現代の企業の資金調達の様子について関心をもち、課題を設定する。</p> <p>株式会社はどのような仕組みになっているの？</p> <p>2 株式会社の仕組みについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社は株式を発行することで得た資金から作られた企業である。 ・株主は株主総会に出席して議決に参加し、利潤の一部を配当として受け取る。 <p>3 株価の変動について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式は証券取引所で自由に売買される。 ・株価は、売買する人の期待によって変動する。 <p>4 本時のまとめをする。</p> <p>株式会社は、株式を発行することで得た資金から運営される企業であること、そして、株主には様々な権利があることが分かった。また、株価は人々の期待値によって変動する。これから新聞やテレビの株式市場欄を見るようにしていきたい。</p> | <p>株式会社の仕組み、株主の権利や責任について理解している。</p> <p>(知・技)</p> | <p>◇新聞の株式市場欄 ◇株式会社の仕組み</p> <p>・株価は日々変動していることを押さえる。</p> |
| <p>4 労働の意義と労働者の権利</p> | <p>労働者の権利を保障するために、労働組合や様々な法律があることを理解することができる。</p> <p>☆労働組合 ☆労働基準法 ☆労働組合法 ☆労働関係調整法 ☆ワーク・ライフ・バランス</p> | <p>1 自分は何を目的に働きたいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の才能や能力を発揮するため。 ・社会に貢献するため。 ・お金を得るため。 <p>労働者の権利を守るために、どんな取り組みがされている</p> <p>2 労働者の権利や守るための法について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働者は労働組合を結成し、労働条件の向上を使用者に要求できる。 ・労働基準法、労働組合法、労働関係調整法がある。 ・労働基準法は、労働条件の最低基準を定める重要な法律である。 <p>3 ワーク・ライフ・バランスの実現の重要性を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長時間労働が原因の心身の病気や過労死が後を絶たない。 ・質の高い充実した仕事をするうえでは、休息の時間を取ることが大切である。 <p>労働者を守るために、様々な法制度や権利がある。自分も将来働く際には、求人広告や雇用条件をよく確認し、少しでもよい環境で働くことができるようにしていきたい。</p> | <p>労働者の権利とその権利を守る法律の整備についての知識を身に付けている。</p> <p>(知・技)</p> | <p>◇年代別の働く目的 ◇日本の失業率の推移 ◇労働基準法の主な内容 ◇主な国の年間労働時間の推移</p> <p>・働き方改革が進められている背景を考えさせる。</p> |
| <p>5 労働環境の変化と課題</p> | <p>現在の雇用形態を学ぶことを通して、自分が望む働き方や誰もが働きやすい職場にするためには、どのようにするとよいかを考えることができる。</p> <p>☆非正規労働者 ☆外国人労働者</p> | <p>1 新聞記事から今の雇用に関わる問題を知り、課題を設定する。</p> <p>労働をめぐる環境には、どんな変化と課題が見られるの</p> <p>2 労働の在り方が多様化していることを押さえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かつては終身雇用や年功序列賃金が広く見られた。 ・能力主義や成果主義の導入が進んでいる。 ・非正規労働者を効果的に雇う会社もあり、働き方の多様化が進んでいる。 ・非正規労働者のセーフティネットを整備していくことが大切である。 <p>3 外国人労働者の実態を知る。</p> | <p>多様な働き方があることをつかんだ上で、労働環境の課題を解決し、誰もがいきいきと働ける社会を実現する</p> | <p>◇非正規労働者に関する新聞記事 ◇雇用形態別労働者の割合の推移と男女の比較 ◇正規労働者と非正規労働者の年齢別</p> |

| | | | | |
|---|--|---|---|--|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・2017年，日本には100万人以上の外国人労働者がいる。 ・日本はこれまで，特別な技能をもつ人や教育や研究に携わる人に限って受け入れてきた。 <p>4 本時のまとめをする。</p> | <p>るには，どうする</p> <p>とよいか主体的に考えている。</p> <p>(態)</p> | <p>平均年収</p> <p>◇外国人労働者の届け出数の推移</p> |
| <p>日本では，最近能力主義や成果主義が増え，働き方も多様化しつつある。しかし，日常生活の中でいろいろ話を聞いていると，人手不足の会社が多いように感じる。非正規労働者や外国人労働者，女性や高齢者，障がいのある人々などの助けも借りながら，すべての人がいきいきと働くことができる環境を創っていく必要があると感じた。</p> | | | | |
| <p>6 少 子 高 齢 化 に つ い て</p> | <p>日本の少子高齢化の解決を図るために「外国人労働者をさらに受け入れていくべきかどうか」について，判断基準を明確にして交流する中で，どんな価値を尊重した見方や考え方があるのかに気が付き，相互の理解を踏まえた意思決定をすることができる。</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1 少子高齢化について，知っていることや問題点を交流する。 2 NHK for school の動画を視聴し，少子高齢化の問題点と，その解決策として外国人労働者の受け入れがあることをつかむ。 <p>少子高齢化が進む日本で，外国人労働者（移民）を</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 判断基準を明確にして，①積極的に受け入れるべき②受け入れざるを得ない③受け入れは止めていくべきかを選択する。 4 全体交流を通して，どんな価値を尊重した見方や考え方なのかを明らかにする。 5 4までの全体交流を整理し，どの立場からも納得できる提案をする。 6 5までの交流をもとにして，自分の考えをまとめる。 <p>外国人労働者は積極的に受け入れていくべきだと思っていた。しかし，問題の根本は，少子高齢化である。そのためには，受け入れを止めていくことは解決のきっかけになると考えた。そのためには，少子高齢化の現状が解消されるように，今後10年以内に合計特殊出生率が1.8以上に増加したり，かつAIや高齢者の働き等で様々な形によって，当面の労働力が確保されたりする必要がある。そうでないのであれば，積極的に外国人労働者を受け入れ，よりグローバル化した日本を目指すべきであると考えた。</p> | <p>判断基準を明確にして，外国人労働者の有り方について，選択している。</p> <p>(思・判・表)</p> | <p>◇NHK for school の動画</p> <p>「地理 第10回 少子高齢化って何が問題なの？～日本の人口～」</p> <p>「アクティブ公民 第2回 グローバル化，キミには関係ない？」</p> <p>・留保条件を踏まえて，自分の考えを選択・判断できるように指導する。</p> |